

1 学校関係者評価委員名

令和2年度 新和小・中学校運営協議会委員	
谷山 二亮 (【会長】新和町づくり協議会会長)	
田中 博一 (新和中学校PTA会長)	新木 健一 (新和小学校PTA会長)
須加原昭博 (行政区長会代表)	吉岡 賢龍 (新和町公民館長)
新木 銘子 (新和まちづくり推進課課長)	山川 一幸 (子ども見守り支援代表)
長田 良信 (社会福祉協議会新和支所長)	柳 圭子 (主任児童員)
角平 義明 (天草市老人クラブ連合会新和支部長)	
益田 聖也 (新和駐在所巡査部長)	上原 晴喜 (新和駐在所連絡協議会会長)
本田津枝子 (ひだまり児童クラブ代表)	福岡 得史 (小宮地保育園長)
山川 元子 (食生活改善推進委員会会長)	
花谷 雄治 (地域学校協働活動推進員)	以上16名

2 学校関係者評価

※数値は4段階評価	
1 学校教育目標	
○学校は、学校の教育方針や教育目標、子どもたちにつけたい力等、分かりやすく示している。(3.85)	
・学校だよりやホームページなどで、分かりやすく示されている。	
・学校だよりは、昨年の学校運営協議会での意見を受けて、紙面を見やすく(B4→A4両面)してもらった。とても分かりやすくなった。	
2 情報の公開と発信	
○学校は、文書や学校メール、ホームページ等で、情報を十分発信している。(3.92)	
・学校メールも、中学校と内容や発出時刻などをある程度揃えてもらっているの、分かりやすい。	
・メールの内容によっては、保護者のみの場合や学校運営協議会まで含めて出している場合などあるが、児童の登下校等に関わることは、知らせてもらえれば、見守り等お手伝いできる。	
3 保護者・地域との連携	
○学校は、保護者や地域の方々と、よく連携をとっている。(3.50)	
4 学習指導	
○学校は、分かる授業・丁寧な授業作りに努めている。(3.75)	
○子どもたちは、意欲的に授業に取り組んでいる。(3.55)	
・授業参観では、子どもの実態に合わせた授業が行われていた。	
・昨年度と比べ、姿勢が崩れる子どもも少なくなった。上級生は落ち着いた授業態度だった。	
5 道徳教育・心の教育	
○子どもたちは、よくあいさつができています。(3.38)	
・子どもたちは、登下校中に、明るく元気にあいさつができています。	
6 生徒指導	
○子どもたちは、規則やマナー、約束を守れている。(3.42)	

7 学校行事

○運動会や学習発表会、持久走大会等の学校行事は、工夫されていると思う。
(3. 69)

・合同運動会は、午前中のみだったが、昨年度の反省をいかしたものになっていた。次年度は、地域種目もいれてもらいたい。

・学習発表会は、(コロナ禍のため) 参観できず、残念だった。

8 学校環境

○学校の施設・設備は、安全で整備・管理されている。(3. 42)

○学校では、校舎内外(花壇・掲示物等)が整理されている。(3. 62)

9 地域活動

○子どもたちは、地域でのあいさつができています。(3. 23)

・元気に挨拶するときとそうでないときの差はある。

・あいさつは生活の基本なので、周りの大人から積極的にしていきたい。

○子どもたちは、地域の中で、きまりを守って過ごしている。(3. 46)

○子どもたちは、地域の活動や行事に積極的に参加している(3. 50)

・コロナ禍により、地域行事自体が実施できないことが多く、残念だった。

3 来年度の重点取組(学校評価を踏まえた今後の方向性)

1 保護者・地域との連携、情報の公開

○ホームページの定期的な更新や学校メールによる迅速な情報発信等、効果的な活用を図る。

○地域学校協働活動推進員との連絡を密にし、地域人材の発掘・積極的な活用を図る。

2 学習指導

○児童が意欲をもって参加できる授業づくりに、学校総体として取り組むことができるよう、校内研修の充実を行う。

○家庭学習の手引きをもとに保護者と連携をとり、家庭学習ノートの実践を進めるとともに、家庭学習の習慣化・学習内容の充実を図る。

3 学校行事・地域学習

○コロナ禍の中でも、保護者・地域と結びついた行事内容を考え、工夫しながら実施していく。

○地域の活動と連携し、学校から地域へと働きかける取組を行っていく。

4 環境整備

○毎月の安全点検の確実な実施と安全管理を行うとともに、危険箇所等の把握と諸機関への迅速な連絡、適切な対応を行う。

5 子どもの姿

○保小中連携カリキュラムを活用した共通実践を通し、家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の見直しを行う。

○今年度の「あいさつ運動」の取組を継続していくとともに、地域や家庭でのあいさつへとつながるよう地域・家庭と一体となった取組を行っていく。

○「新和っ子ならできる5つのABC」を徹底し、凡事徹底の意識化を図っていく。